



「補W2」ページの「DLL呼び出し」ボタンを押します。



FSGウィンドの「表示用webcam\_LAN起動」ボタンを押します。

DII\_webcam\_LANウィンドが開けば、FSGウィンドは×で閉じて構いません。

## 【注意】

遠隔入力用のウィンドは、FSGウィンドを閉じると機能しなくなります。

2 + 3 - 3 - 2 - 2 - 2	
読み込み設定I采仔起動時設定 ↓通常OFF	
🗆 カメラ開始 <mark>50 🕂</mark> 🗆 枠なし(F1戻る) 🛛 前面にする	
④ LISB2.0 Camera ▼ ○ 手入力はここ	
USB2.0 Camera	
-ズーUSB2.0 PC Camera	
CtriMicrosoft LifeCam <ul> <li>640×480 (30万画索)</li> <li>MicrosoftR LifeCam VX-2</li> </ul>	
-ズ- <mark>UCAM-DLY300TA</mark> C 1280×1024(130万画条)	
<u>始点 長さ VGA</u> 0 1600×1200(200万画素)	
横 0 640 ○ 2048×1536(300万画素)	
🥡 0 🕂 480 🕂 🕴 手話など動きのある動画は	
移動量 ⊙ 250 ○ 100 ○ 10 「A」と「640×480」が良()	
USBカメラが撮影している視野の一部をデジタルズームして 📥	
「読示できます。     ズームは3つ指定でき、設定保存できます。	
Part Web (c) + 3	
Limit 年 な彼い カゴ 1 )USBカ xラを接続します。	
2)ディバイフタを選択するね 手入力 手オ	

USBカメラのディバイス名を選択します。

プルダウンメニューに無い時は、ディバイス名を手入力します。

【ヒント】

ディバイス名を確認する手っ取り早い方法は、skypeの

「ツール」→「設定」→「ビデオディバイス」の「webカメラ」に表示されるディバイス名で確認することです。

「USB ビデオディハイス」



カメラの画素数を選択します。

ズームを使う時は、そのカメラの最高画質を選択してください。

手話など、動きのある画像と合成する場合は、パソコンの性能にもよりますが、できるだけCPU負荷を軽くするため640×480を推奨します。



「カメラ開始」のチェックを入れるとUSBカメラの映像が表示されます。

この時、「Aなし」(Ctrl+Aのショートカット、ズームなしの意味)のラジオボタンが入っているので全体が表示されます。

「ズーム」枠については、後で説明します。

「Aなし」のラジオボタンが入っている時は、「ズーム位置の指定」が消えます。

「カメラ画素数の指定」は、「カメラ開始」チェックを入れると必ず消えます。

「枠なし」のチェックを入れます。



設定パレットが消えて画像のみが表示されます。 F1キーを押すと設定パレットが表示されます。



「スーム」の「S」ラジオボタンを入れます。



「スーム」の「S」ラジオボタンを入れると、「ズーム位置の指定」で指定された領域が表示されます。

ディフォルトでは、元の画面の左上の640ドット×480ドットの領域が、ストレッチされて表示されます。



「始点」と「長さ」をUpDownで変更すると、表示する矩形の位置が変わります。 「移動量」のラジオボタンを選ぶと「始点」「長さ」のUpDownの変化量を指定できます。



「D」のラジオボタンを入れて他の範囲を指定します。



同様に「F」のラジオボタンを入れて他の範囲を指定します。



ショートカットキーで、ズーム範囲を切り替えることができます。 この指定は、設定保存されます。



「VGA」ボタンを押すと「長さ」が640×480のサイズになります。

表示範囲の判断に迷った場合に押すと縦と横の比がパソコンの画面に合っているので 便利です。



画像と字幕を合成する設定をします。

画像を表示する位置にdll\_webcam\_LANウィンドウを配置します。

★全面にしてクロマキーで合成することも可能ですが、CPU負荷はかなり高くなります。



メインウィンドで「表示2」ページの「単一色でカバー」チェックと「表示部とテロップを前面 にする」チェックを入れます。

<ul> <li>読み込み</li> <li>読定保存</li> <li>起</li> <li>プカメ清告</li> <li>ジーゴー 枠なし(</li> <li>webカメラ・ディバイス名</li> <li>© UCAM-DUY300TA</li> <li>○ 「手</li> <li>べーム</li> <li>○ (L+ x</li> <li>○ Azal ○ S ○ D ○ F</li> </ul>		
USBカメラが換差している視野の一番 表示できます。 スームはつつ地定でき、設定保存でき 【発生な使い方】 1.USBカメラを接続します。 2.)ディバイスなる機能するか。手入ナ	ま示、入力   違沢   補州   補州2   バートナ   表示1   表示2   表示3   ま ま示、入力   違沢   補州   補州2   バートナ   表示1   表示3   ま モスムーズ画面のスクロール速度を調整します。 「 静止型表示(1 スロール・移動量   Fット 「 スクロール速度自動加速 スロール・都動量   Fット 「 スクロール速度自動加速 スロール・都動量   T トット 「 スクロール速度自動加速 スロール・御罵 30 まりや 未表示行数が 「 行けな 1行びつ送る」 スクロール検 デスクトップを力パー 「    カバー面(表込) 雪電面(ア・パー) は日におして面(ス)」	
		<ul> <li>マウスカーン川の其表示</li> <li>●「指」「非表示」「通常」の順に変化します</li> <li>ア クリックすると消える</li> <li>Shift + 古クリックでカーン川表示する。</li> <li>PowerPointの前面に表示</li> <li>●ディッグを入れた(別に他の) 心ドを 間かないようにしてください。</li> <li>「2 表示部と知っ?を前面にする</li> </ul>

カバーした部分をクリックするとdll\_webcam\_LANウィンドが表示されます。



「表示1」ページでフォントや背景色の指定をします。 「入力人数は?」で「表示用」を選びます。 メインウィンドウを配置し、F1キーを押して枠なしにします。



ショトカットキーで、設定しているズーム範囲を切り替えることができます。



画像を全面にして、字幕をクロマキーで合成することもできます。 ただし、CPUの負荷はかなり高くなるので、高性能のパソコンが必要となります。



手話など、動きのある画像と合成する場合は、CPUの処理が間に合わないと残像が残ることがあります。

この場合は、できるだけ高性能なパソコンを使ったり、640×480、「Aなし」を選択して CPUの負荷を軽くする工夫をしてください。

キャプチャーする間隔をディフォルトの50m秒(20fps)から遅くすることも効果があります。

